



インスピレーションになるう

Rotary



国際ロータリー第2610地区

南砺ロータリークラブ

クラブ会報

なんと

NO. 2425

URL <http://www.nanto-rc.jp>

E-mail office@nanto-rc.jp



例会日/火曜日 12:30点鐘 例会場/富山銀行福光支店4階 ◆事務局/富山県南砺市福光7336-4 ぶくみつ光房内 ☎ 0763-53-1333 FAX 53-1334

撮影 写真同好会 山田 孝会員



砺波チューリップ公園

◆幹事報告 久恵龍三幹事

- ①G事務所より、【2019.RI国際大会】ハンブルグ登録推進の依頼。
- ②氷見、砺波、氷見中央RCより例会変更のご案内
- ③12/18(火) クリスマス例会 "TONAMI 翔凜館"18:30 送迎バス有
- ④1/11(金) 新年懇親会 "みや川" 理事会17:00 開宴17:30

◆委員会・同好会報告

●雑誌広報

三吉外男委員長

「友」12月号の紹介。・縦書4P「新しい人生と寿命を延ばす方法」の記事では、今から100年前日本の平均寿命は男女共43才でした。戦後漸く、男女共平均寿命が60才を越えたのだそうです。

50才を超えている人が、何才まで生きるのかという「平均余命(よめい)」が、平成27年の試算では、**男性82.39才、女性88.13才**となりました。人から感謝される事を重ねていけば、自分の寿命が延びると考える人もいます。男性の寿命を延ばすコツは楽しくリラックスして生きることがよいと証明されているとのこと。

・横書き26Pです。日本のロータリーが**2020年に100周年**を迎えるに当たり、記念ピンバッチのデザインを募集していました。このたびグランプリが決定(写真)。2019年6月迄に100万個製作し100周年を日本のロータリアン全員で祝いたいと書かれています。

●親睦活動

山田 孝委員長

来週のクリスマス家族会は、18:30開始です。**バス**は城端駅前17:40⇒福光駅前17:50⇒福野行政センター前18時⇒となっています。来春の新年懇親会は、1月8日(火)が**1月11日(金)に変更**になりますのでご注意ください。17時理事会、17時30分懇親会です。

●写真同好会

事務局 高野 実君

12月26日18:30より研修会を"まねき"で開催。一般会員大歓迎！事務局へ申し込んで下さい。

★ニコニコボックス

12/11 榊 祐人委員長

岩木君 12月に入り、少し冬らしくなってきました。ただ、雪はほどほどにしてほしいと思います。〈スキー場に雪がありゴルフ場に雪がないのがベストですね。15年前にそんな事がありました〉

木勢君 次々年度会長に指名・当選しました。一生懸命に努めますのでよろしくご指導戴きますようお願い申し上げます。

川合君 2018年もあと半月になりました。次年度のクラブ運営体制を発表させて戴きました。よろしく申し上げます。

荒井君 初雪で寒くなりました。年末の多忙期頑張りましょう。片山浩君 冬らしくなりました。カゼをひかないよう頑張ります。

森 悦君 今朝、畑も田圃も白くなっています。そろそろ冬へ向っております。体調を整え風邪を引かぬ様にしていく中で、体調不調で土日は寝ていました。今日は元気です。

尾山君 気になっていた、タイヤチェーン義務規制全国で13区間。富山県内は対象無しでホッとしました。

山田清君 一ヶ月近く、スキーに行っていた中学生の娘が期末テストを受けに帰ってきます。地元スキー場の一日でも早いオープンを楽しんでいます。〈同感です〉

片山道君 南砺市テニスの大会があり、あこがれの先輩、一回も勝てなかった6年生に初めて勝つ事ができ、優勝。1位～4位全部城端。〈おめでとうございます〉

久恵君 榊君、副議長就任おめでとうございます。益々のご活躍を期待します。

古瀬君 榊さん副議長おめでとうございます。谷村さん卓話宜しく。楽しみにしています。

松本敏君 榊さん、南砺市議会副議長おめでとうございます。榊君 この度、大役を仰せつかることになりました。ニコBOXの報告も、副委員長をお願いすることが増えそうです。大変申し訳ありませんが、宜しくお願いします。

北島君 早退します。

第2485回例会 平成30年12月11日(火)曇

- ◆点 鐘 12:30 岩木貴之会長
- ◆司 会 森 悦夫SAA
- ◆ソング 「奉仕の理想」
- ◆会長の時間 岩木貴之会長



百年ハジメのクラウン
横山武志氏(東京北RC)

本日は12月度第2例会です。当クラブの“定款第8条・第2節”役員を選挙する為の年次総会は、細則の定めるところに従い、毎年12月31日までに開催されなければならない。とありまして、この定款ならびに細則に従いまして、**年次総会を開催**いたします。

1. 第1号議案「次々年度会長の選出」について
11月第2例会において、会長指名委員6名、満場一致により指名いたしました、次々年度会長候補者の木勢博文君の承認の件につき、ご異議ありませんか？〈異議なし〉の声。(投票の過半数をもって承認) 木勢博文君の次々年度会長に当選されましたことを、ここに宣言いたします。(木勢博文君受諾の挨拶あり)
2. 第2号議案「次年度理事および役員選出の件」について
川合声一会長エレクトより、次年度理事および役員候補者の発表をお願いします。(投票の過半数をもって承認)(次年度副会長、幹事、会計および6名の理事氏名を発表する)万雷の拍手により、以上の方々の次年度理事・役員に当選したものと宣言いたします。

以上をもちまして、2018-19年度の年次総会を閉会します。

◆次年度役員

会長：川合声一 副会長：片山道代 会長エレクト：木勢博文
幹事：山田 孝 副幹事：森 雄一 会場監督：吉田 実
副会場監督：大西正芳 会計：榊 祐人 会計監査：高野 実
直前会長：岩木貴之【理事】国際奉仕：尾山裕和 職業奉仕：森 悦夫 社会奉仕：中田 修 青少年奉仕：松井洋司 理事：澤田喜朗 理事：渡邊秀一の皆さん。

本日のプログラム 12月18日(火) 第2486回
例会変更 クリスマス家族会 18:30 TONAMI 翔凜館
担当 親睦活動委員会

◆出席報告 杉本正人副委員長

会員数	12月11日出席率	11月27日の修正
47	80.85% (欠9)	87.23% (欠6メーク3)

メーキャップ：岡部一輝君、中田修君、松井洋司君

次回の予定 1月11日(金) 第2487回
例会変更 新年懇親会 17:30 旅亭 みや川
17:00 理事会 担当 親睦活動委員会

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1. 真実かどうか
- 2. みんなに公平か
- 3. 好意と友情を深めるか
- 4. みんなのためになるかどうか



今年は雨で中止となりましたが南砺ロータリークラブの活動の中で小矢部川ふれあいフェスティバルがありましたので、小矢部川について色々調べたことをお話ししたいと思います。小矢部川はその源を富山・石川県境の大門山(加賀富士)に発し、長さ68kmで富山湾へ流れ込みます。古代には庄川が砺波平野の中心を流れ、小矢部市付近で小矢部川と合流し、そこから下流は射水川とよばれていました。その後、庄川は別の流路を流れ、江戸時代には高岡で合流、さらに明治時代、河口が庄川と小矢部川で分けられました。江戸時代には河口から津沢まで年貢米などを運ぶ舟があったそうです。

ただ小矢部川と言いましても、あまりにも範囲が広く、自分では到底調べ尽くすことは出来ないのです、ぐっと範囲を狭めて最近自分が小矢部川について興味を持って調べたことを川下の方から順にお話ししたいと思います。

まず、インターネットでグーグルアースを眺めていると富山湾の底から青森県の西の日本海盆あたりまで川のような地形があります。これがどの様に出来たのか気になりまして、昔は海が浅かったのではないかと、実は断層の類なのか、と色々考えていたのですが、調べてみたところこれは富山深海長谷と言われているようで、富山湾から北に総延長750kmもの長さがあるそうです。富山湾で小矢部川、庄川、神通川、常願寺川、黒部川などの河川より雪解け水や洪水、土石流により運ばれた大量の土砂が勢いを保ったまま海底で乱泥流となり、海底を侵食した結果、この様な地形ができた、と考えられているそうです。ということは、今も海の底に小矢部川の延長として川が流れている様に考えられ、全長367kmの信濃川の2倍以上、ということに興味深いな、と思います。



グーグルアースに見られる富山深海長谷

次に、福岡町あたり的小矢部川下流域で川幅が広く、水深もあり流れが緩やかな場所の上でトンビの様な鳥が飛んでいるのを見たことがあります。しばらく観察していると急に身を翻し、垂直に近い角度で水面へ近づいて魚を捕まえて飛んでいくことがあります。これはミサゴという鳥で、海岸や湖沼、広い川などの水辺に住むタカに近い種類とのことです。古来より魚を捕る魚として知られ、ミサゴが捕まえて貯蔵した魚が自然発酵し旨みが増したものを人間が食べたのが寿司の起源とも言われますが、本当かどうかは分かりません。ただ、みさご寿司というお寿司屋さんがあちこちにあるそうなので、このことが由来になっている様です。ミサゴは6月ごろ、城端の桜ヶ池でも見たことがあります。飛んでいる時、下側が白のが特徴です。英語名はオスプレイなので、南砺市には世の中で騒がれる遙か以前よりオスプレイが飛来していたこととなります。

ミサゴ(英語名オスプレイ)



津沢より下流は平地が広がり、川幅も広く水深もありますが、津沢より上流、福光まで小矢部川水深浅いところがあり、水運はどうしていたのか、ということですが、小矢部川では主に明治中頃・鉄道ができるまで笹舟と言われる四間二尺(780cm程)の舟が使われていたようです。下流から鱒などの魚肥を積み、岸辺から船子が綱を引き福光まで運び、小矢部川の東側で荷下ろしされていたとのことです。昔は堰(せき)の様なものはなく、水深も小舟が通れる程度あったのかもかもしれません。

小矢部川で子どもの頃、石拾いをされた方もいらっしゃると思いますが、メノウや赤石、水晶など綺麗な石もあり、中でも玉石など、他所の河川では見られない石もあります。玉石はオーソコーツァイトと言われ、石英の砂粒が集まってできています。砂漠などの気温差が過酷な場所で、岩石が風化し、長石や雲母などの鉱物が分解され、最後に残った石英の砂粒が集まって地層となり、地下で固まって出来た岩石がオーソコーツァイトです。しかし、ここで一つ気になることがあります。小矢部川の河原で見つかる玉石は大抵どれを見ても丸みを帯びているか、綺麗な楕円形をしています。小矢部川源流域から福光町までせいぜい20kmしかないのに玉石のような硬い石が流されて来る間、どうしてここまで丸く磨かれたのか、ということです。そこで小矢部川の玉石の産地についてインターネットなどで調べたところ、それは刀利礫岩層である、ということがわかりました。刀利礫岩層というのは刀利ダムからも見える赤壁と言われる巨大な岩で、約2500万年前、まだ日本列島が大陸の一部だった頃、扇状地や河川などで出来た地層とのことです。礫岩層というのは小石や砂粒、岩石などが含まれる層ということです。



赤壁

先日、刀利礫岩層がどのようなものであるか、赤壁の近くへ見学に行きました。途中、刀利ダム親水公園に山崎兵蔵先生の銅像がありましたのでどのような方か調べました。明治20年生、昭和38年没 網掛出身明治34年福光小学校高等科卒業後、15歳から太美山小学校代用教員として刀利分教場勤務、のち教諭となられ、教具不備の中、創意工夫をされたり、自分の俸給を教具代にされ、学齢すぎた青少年には夜学を開き、住民の相談相手となり、援護者となり良縁もいくつかのけて独身を堅持し、ひたすら郷土のために生きられた方であるという事がわかりました。

話を赤壁に戻しますと、残念ながら車道から離れた山中にあるので近づくことは出来ませんでしたが、カメラの望遠レンズで玉石のある地層の写真を撮ることができました。岩の間の地層から磨かれたような丸い石が今にも落ちそうに現れている様子を観察できました。

つまり、先程お話ししました大陸の奥の方の砂漠で数億年前に出来たオーソコーツァイトの岩塊が風化作用で崩れ、大陸の長い長い河川を流れ下る内に削られ丸みを帯び、川底や湖の底などに堆積したものが2500万年前地層に取り込まれ、更に長い年月を経て日本列島が大陸から離れ、刀利の赤壁として現れ、そこより転がり落ちたものが小矢部川を流れ下り、今日玉石として我々が目にする事となった、というやや複雑な経歴がある、ということが判りました。刀利礫岩層に似た岩を石川県の白山へ登った時に見たことがあります。白山を金沢側の砂防新道という登山道から登った場合、途中でオーソコーツァイトの礫が含まれた岩を目にします。調べました所、これもやはり、河川によって運ばれてきたものが湖の底にたまり、地層に取り込まれ、日本列島が大陸より分離したのち隆起して山の上に現れたものだと思います。自分が見た感じでは白山のものは割と白っぽいものも多く、小矢部川の石とはまた少し成分が違うように思えます。大昔は結構広い範囲で湖の様な場所が広がっていたのかもしれませんが。

白山の話が出ましたが、南砺市からは山陰に隠れ、見る事ができません。しかし、小矢部川水源である大門山も白山から連なる山なので、知らず知らずの内に白山の恩恵を頂いている様に思えます。富山県といえば何かと立山が目立っていますが、砺波市や小矢部市の辺り迄行けば白山の山頂付近を見ることができます。そこで、書店で売っているカシミアというパソコンソフトを使い富山県内で白山の見える範囲を調べました。砺波方向よりスーパー農道で帰ってくる場合、上野の交差点あたりでギリギリ袴腰の左側に隠れます。また、津沢より少し北のあたりまで行けば千羽平の上の山の間はその姿が見えます。勿論北の方へ行くほど天気が良ければよく見えます。立山連峰の様に山々の連なった雄大な姿ではありませんが、営業にて外出中、良く晴れた日など山と山の間から白山が顔を覗かせているのを見ると少し嬉しかったりします。

以上、雑学的な話でしたが、今回の卓話を機会に小矢部川のことを色々自分なりに調べ、皆さんにお話しできたことで来年の小矢部川ふれあいフェスティバルでの河川清掃には、小矢部川により親しみをもち、参加できるのではないかと思います。

(会報担当・井沢正生)



上野より見た袴腰横の白山